

**平成31年度 岐阜県空手道競技大会**  
**平成31年度 岐阜県マスタース空手道選手権大会**  
**平成31年度 岐阜県中学生空手道選手権大会**

**形競技**

- ※競技大会は全空連競技規程通り 1 回戦から赤青 1 名ずつ演武する。
- ※マスタース大会は準決勝・3位決定戦まで2人同時に演武。決勝戦のみ赤青1名ずつ演武する。
- ※中学生大会は準々決勝までは2人同時に演武。準決勝、3位決定戦、決勝戦のみ赤青1名ずつ演武する。
- ※団体戦は赤青1チームずつ演武する。
- ※2人同時演武の際の判定はコートの中にて行う。
- ※勝者のコールは、主審が行う。(座ったままで)
- ※全試合、赤青フラッグ制の勝ち抜き戦とする。
- ※2人同時演武の際は主審の短笛の合図で開始する。
- ※試合が連続する場合2分間の休みを取る。その際、時計は前試合の勝敗判定後からスタートする。赤青が変わる場合でも2分間とする。
- ※トーナメントに小山がある場合  
 競技大会、マスタース大会は、小山が1回戦でシード選手の初戦は2回戦となる。  
 中学生大会は、小山は補助戦と考え、シード選手の初戦までを1回戦とする。

〈諸則〉 . . . 本戦に準じる

1. 競技大会  
 1回戦は全空連第1指定形、2回戦は全空連第2指定形、3回戦以降は得意形とする。
2. マスタース大会  
 1回戦は全空連第1指定形、2回戦は全空連第2指定形、3回戦以降は得意形とする。
3. 中学生大会 個人戦  
 1・2回戦は全空連第1指定形(繰り返し可)、3・4回戦は全空連第2指定形(繰り返し可)、5回戦以降は自由形とするがそれまでに使用した形は不可(繰り返し可)。
4. 中学生大会 団体戦  
 1、男子(4チーム)は1回戦は全空連第1指定形とし、以降は全空連第2指定形とする。  
 2、女子(1チーム)は全空連第1指定形を演武する。

**組手競技**

※競技時間と得点について

競技種目		全 て		
競技大会	成年男子	3分	フルタイム	8ポイント差
	成年女子	3分	フルタイム	8ポイント差
	少年男女	2分	フルタイム	8ポイント差
マスタース大会		2分	フルタイム	6ポイント差
中学生大会		1分30秒	フルタイム	6ポイント差

〈諸則〉

1. 大会実施要領に記載する安全具を着装のこと。
2. 中学生大会の団体戦は勝敗が決し次第終了する。(2勝したら、3人目は試合を行わない)

**その他**

- ☆選手・監督以外はアリーナ外にて応援、観戦の事。
- ☆監督は空手衣を着用し、県連より配布した指定のシールを必ず貼り付けることとする。  
 また、監督の人数制限は強化部会にて決定し、当日受付にて人数分のシールを渡します。
- ☆コート係員は、6コート分の受け持ちを次のとおりとする。  
 和道会2コート、松涛連盟2コート、空手協会2コート